

リトルコロレス 群雀 02



苗田春彦



リトルプレス群雀02

茜町春彦

目次：

- 歴史絵詞「藤原4兄弟」
- 憶測エッセイ「藤原光明子」
- 仮説エッセイ「青丹吉」
- 新作万葉集「第5頁」
- 英語翻訳「種田山頭火」

前書き

歴史絵詞「藤原4兄弟」：

藤原不比等の長男の武智麻呂、次男の房前、三男の宇合、四男の麻呂に関する出来事です。イラストも描きました。

憶測エッセイ「藤原光明子」：

不比等の娘の「光明子」の訓じ方を考えてみます。

仮説エッセイ「青丹吉」：

万葉集の枕詞「青丹吉」は、何を意味するのか？考えてみます。ただし上代特殊仮名遣は間違いであると仮定して居ります。

新作万葉集「第5頁」：

現代の出来事をアイデアの基にして、万葉仮名で歌を1首詠みました。人物・団体等は全て架空のものです。

英語翻訳「種田山頭火」：

句集「旅心」より1句を選び、英訳しました。



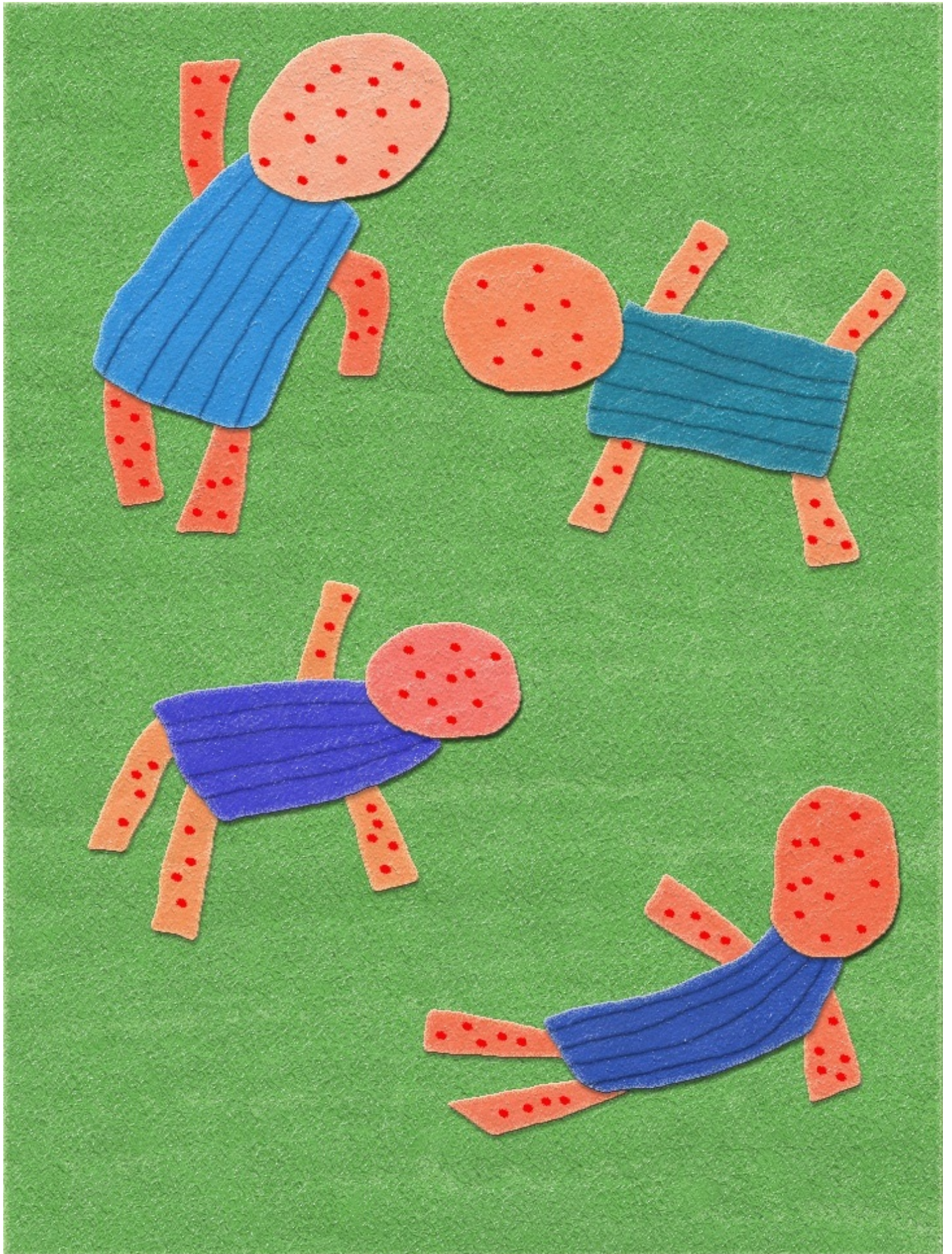
歴史絵詞「藤原4兄弟」

絵・文：茜町春彦

概要：

藤原不比等の長男の武智麻呂、次男の房前、三男の宇合、四男の麻呂の後半生に関する出来事を年表形式に纏めました。イラストも描きました。





歴史絵詞：藤原4兄弟

西暦729年

- 2月、長屋王が、没する。
- 3月、武智麻呂が、大納言に昇進する。
- 8月、光明子が、立后して人臣初の皇后となる。
- 9月、房前が、中務卿を兼職する。

西暦730年

- 此の頃、修行僧の行基が、民衆を集め、因果応報を説くと共に、朝廷の内部事情を話して聞かせる。（行基の妖言）
- 9月、朝廷は、情報統制の為に治安維持法を発布する。

西暦731年

- 宇合と麻呂が、議政官になる。

西暦732年

- 房前と宇合が、兵器の管理・兵站・徴兵を管轄する節度使に就任する。

西暦733年

- 朝廷は、唐と新羅を警戒して、国防の為に備辺式を制定する。

西暦734年

- 1月、武智麻呂が、右大臣となる。

西暦735年

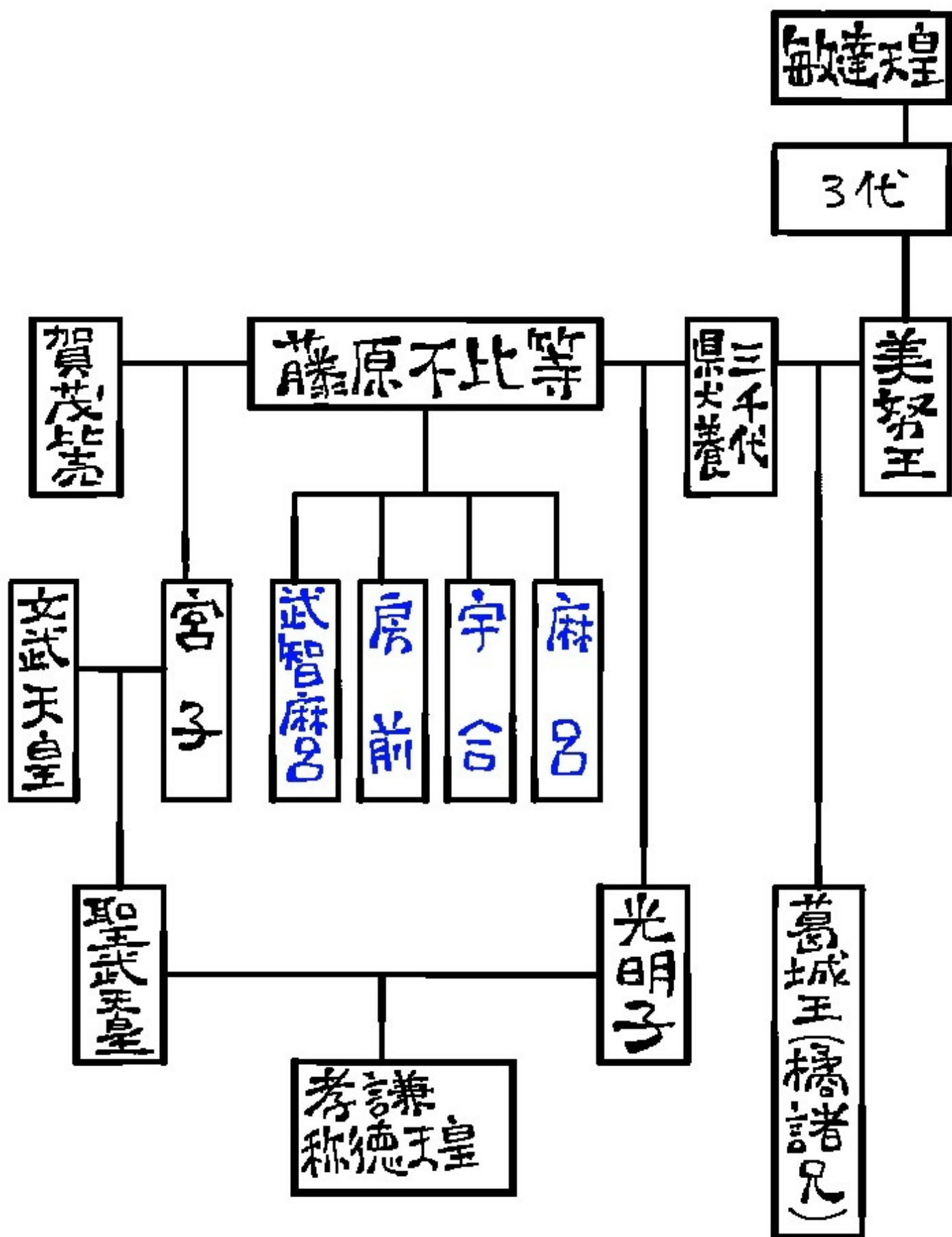
- 天然痘が、全国的に流行する。

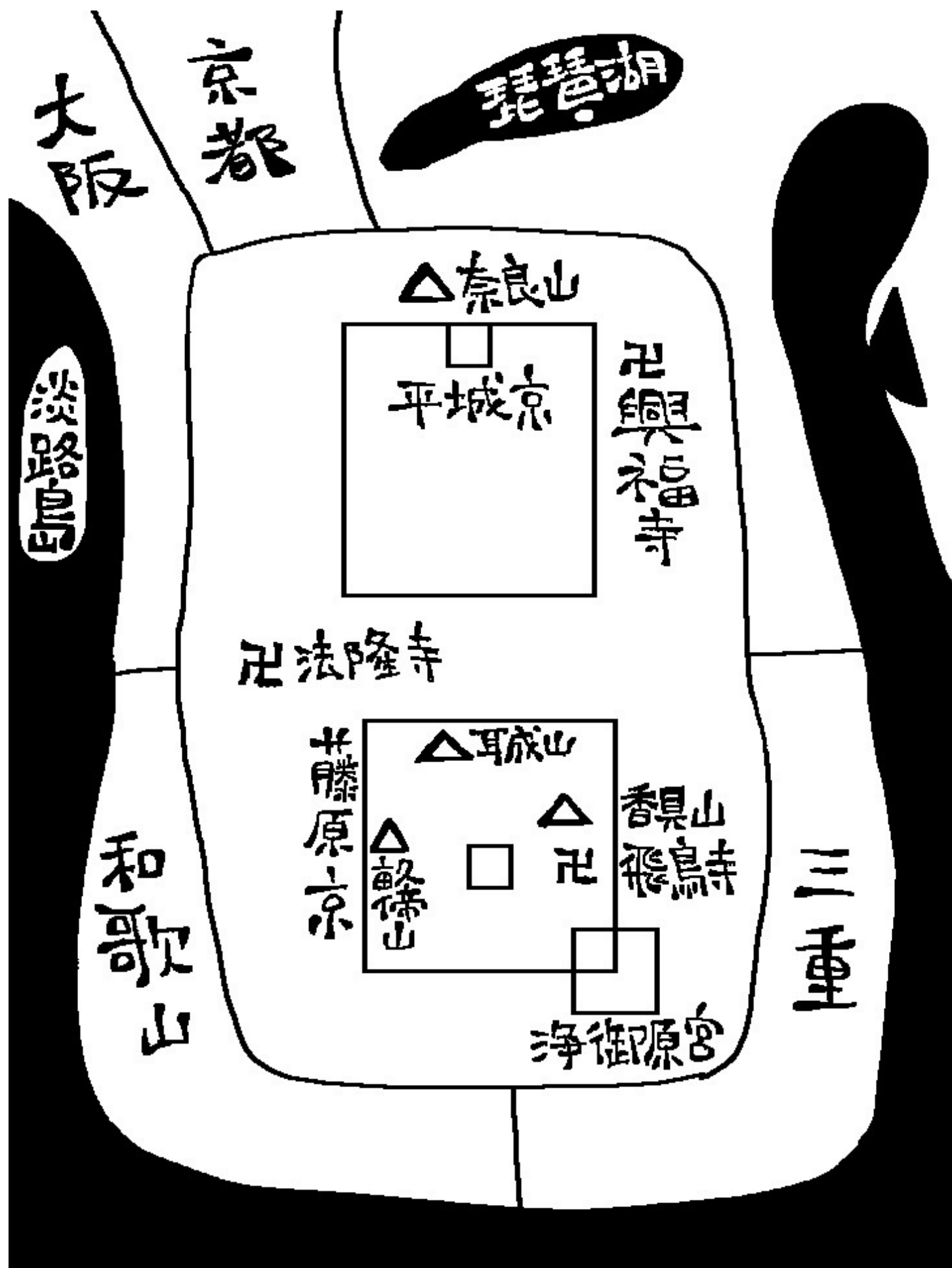
西暦736年

- 11月、葛城王が、臣籍降下して橘諸兄と称する。

西暦737年

- 4月～8月、藤原4兄弟が、まるで暗殺でもされたが如く連続して病没する。







憶測エッセイ「藤原光明子」

著者：茜町春彦

概要：

不比等の娘の「光明子」の訓じ方を考えてみます。

「米」の字を奈良時代に「こめ」と読んでいたか、否か、未確認ですが、「米」を「こめ」と読んでいたはずとして、憶測でこのエッセイを書きました。

不比等の娘の「光明子」の読み方を考えてみます。

「光」は「こ（う）」と読んでみます。

「明」は「め（い）」と読んでみます。

「子」は「こ」です。

従いまして、「光明子」は「こめこ」と読めるので「米子」と解釈して「よねこ」若しくは「いねこ」と訓じたと考察します。

「みや子」の妹が「よね子」ならば、マア妥当な線だと思います。

尤も順序は逆で、元々「よね子」と呼ばれていて、漢字を当てると「米子」のところ、見栄えを良くする為「光明子」と当てたのでしょう。（憶測ですけど）

光明子



こめこ



米子



よぬ子



仮説エッセイ「青丹吉」

著者：茜町春彦

概要：

万葉集の枕詞「青丹吉」は、何を意味するのか？考えてみます。ただし上代特殊仮名遣は間違いであると仮定して居ります。

仮説エッセイ：青丹吉

万葉集の枕詞「青丹吉」は、何を意味するのでしょうか？

青色と赤色が混ざると紫色になるので、「青丹」と書いて「むらさき」と読ませたいが「あおあか」と読めてしまうので、「吉（き）」を送る事により強制的に「青丹吉」を「むらさき」と読ませていると思います。そこから更に「紫」は「村先」の意味になると思います。

参考例として「青丹吉」の入っている歌、3首を訳してみます。

まず原文を引用しますと、

- 17 味酒 三輪乃山 青丹吉 奈良能山乃 山際 伊隠万代・・・（後半省略）
- 3236 空見津 倭国 青丹吉 常山越而 山代之・・・（後半省略）
- 797 久夜斯可母 可久斯良摩世婆 阿乎尔与斯 久奴知許等其等 美世摩斯母乃乎

引用終わります。

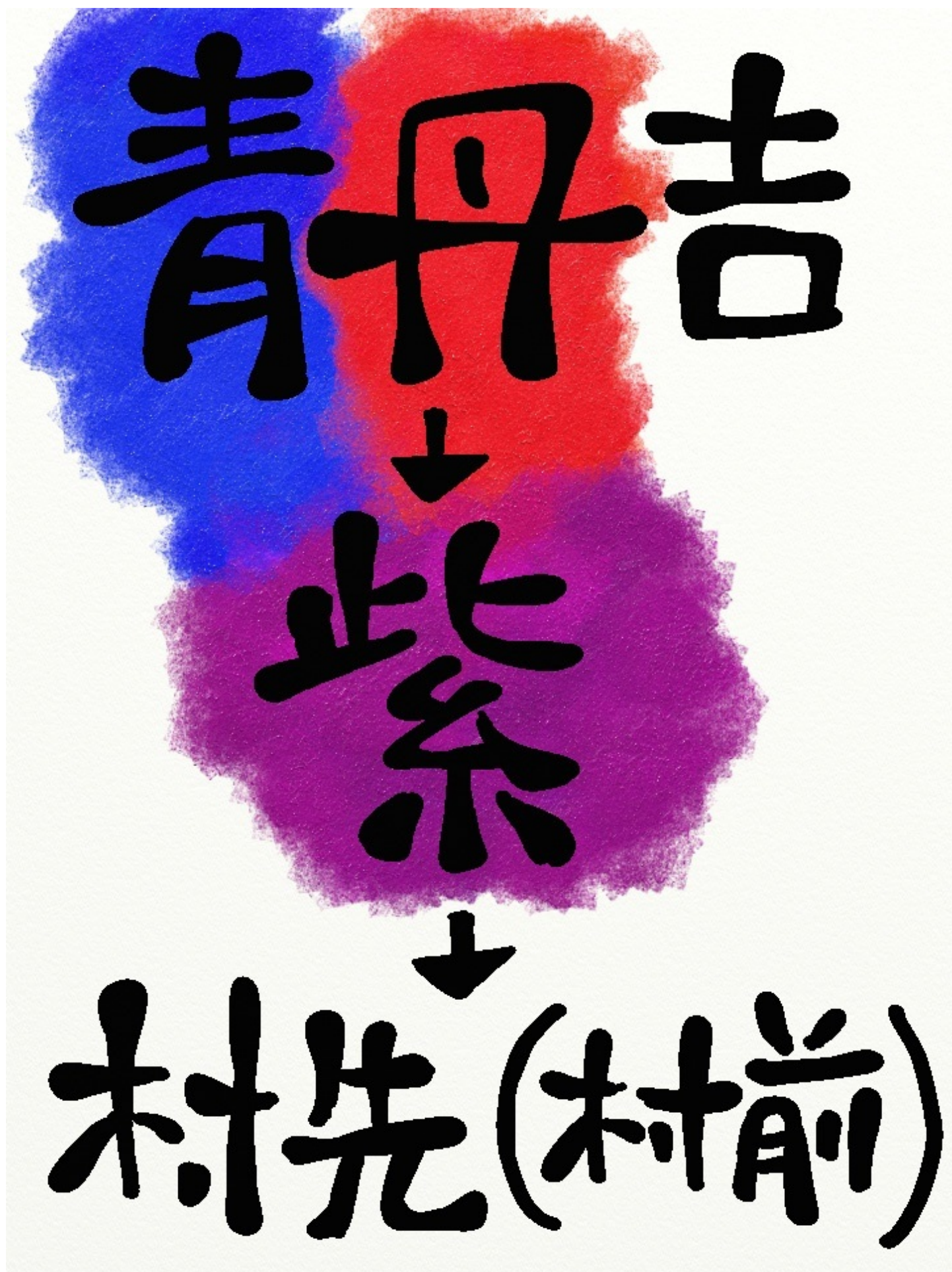
歌番号17と3236を、「青丹吉」は「村先」として、訳してみます。

- 17 見さけむ 三輪山が 村の先の 奈良山の 山際に 隠れる迄・・・（後半省略）
- 3236 空を見つつ 大和の国の 村の先の 奈良山を越えて 山城の・・・（後半省略）

歌番号797を、「青丹吉」は「紫」として、訳してみます。

- 797 悔しかも かく知らませば 紫の国（筑紫国）の内を悉く 見せましものを

（了）





新作万葉集「第5頁」

作：茜町春彦

概要：

現代の出来事から主題をとり、万葉仮名で歌を1首詠みました。

人物・団体等は全て架空のものです。

或脱藩官僚詠、歌1首

- 次務事官矢 伸議官乃 尼下先乃 唐京伝力乃 内部龍歩尾 省令泥 家寢絵家寢絵孟家寢
絵特定秘密補語法餓溺鱈孟家寢絵



英語翻訳「種田山頭火」

著者：茜町春彦

原著者：種田山頭火

概要：

句集「旅心」より1句を選び、英訳しました。

種田山頭火について：

行乞しながら自由律俳句を作り続けた俳人です。

没年は昭和15年です。

- 葦の穂風の行きたい方へ行く
- I walk in the direction of the wind as if an ear of a reed sways in the wind.

後書き

参考文献：

- 角川漢和中辞典：1995年11月20日235版発行（株式会社角川書店）
- 大漢語林：平成4年4月25日初版発行（株式会社大修館書店）
- 字統：1985年1月7日初版第8刷発行（株式会社平凡社）
- 古語大辞典：昭和60年1月21日第1版第6刷発行（中田祝夫・和田利政・北原保雄編、株式会社小学館）
- レトリックのすすめ：2009年9月1日初版第2刷（野内良三著、株式会社大修館書店）
- 新選万葉集抄新装版：平成25年1月30日新装版第2刷発行（小野寛著、有限会社笠間書院）
- 萬葉集 一 新日本古典文学大系1：1999年5月20日第1刷発行（佐竹昭広、山田英雄、工藤力男、大谷雅夫、山崎福之校注、株式会社岩波書店）
- 萬葉集 三 新日本古典文学大系3：2002年7月29日第1刷発行（佐竹昭広、山田英雄、工藤力男、大谷雅夫、山崎福之校注、株式会社岩波書店）
- 日本の歴史04 平城京と木簡の世紀：2009年12月1日第3刷発行（渡辺晃宏著、講談社学術文庫）
- 日本史リブレット73律令制とはなにか：2013年3月5日1刷1版発行（大津透著、株式会社山川出版）
- ジーニアス英和辞典〈改訂版〉2色刷り:1994年4月1日改訂版初版発行（株式会社大修館書店）
- 新コンサイス和英辞典〈革装〉第3刷：昭和50年9月15日第1刷発行（株式会社三省堂）
- 実例英文法〈第4版〉：昭和63年6月第1刷発行（AJ.トムソン・AV.マーティネット共著、江川泰一郎訳、オックスフォード大学出版局）
- Longman Dictionary of American English:First printing 1983(Longman Inc.)
- 山頭火句集：2000年6月15日第5刷発行（村上護編、ちくま文庫）

CG画像：

次の画像処理ソフトウェアを使用しました。

- ArtRage 3 Studio Pro（アンビエント社）
- Photoshop Elements 10（アドビシステムズ株式会社）

著者：

茜町春彦（あかねまちはるひこ）と申します。

2004年より活動を始めたフリーランスのライター&イラストレーターです。

作品が社会の進歩に多少なりとも寄与することを願いながら、日々制作を行なっています。

その他：

製品名等はメーカー等の登録商標等です。

本書は著作権法により保護されています。

2013年12月1日発行

リトルプレス群雀02

<http://p.booklog.jp/book/79949>

著者：茜町春彦

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/akaneharu/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/79949>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/79949>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社ブックログ